

山崎

Y A M A S A K I

平成14年
生神金光大神大祭号

vol. 85

金光教山崎教会 / 発行

649-6235 和歌山県那賀郡岩出町西野 234

電話 0736 (62) 1106 ファックス 0736 (63) 2043

ホームページ <http://konko.pos.to/>

メール konko@pos.to

2002.10.13

あいよかけよの生活運動「教会サブ・タイトル」について 教会長 明渡 眞幸

募集していました「あいよかけよの生活運動」の教会サブ・タイトル、右記のように「祈りあって共に生き助けあっていのち輝かそう」に決まりました。

「あいよかけよの生活運動」	いのち輝かそう	助けあって	共に生き	祈りあって	山崎教会サブテーマ
---------------	---------	-------	------	-------	-----------

今回の運動では「祈り」「対話」「行動」という信心についての行動指針が示されています。それについては、私たちが誰一人として、かけがえのない「いのち」をいただき、生かされて生きているお互いであるという認識に基づいています。生かされてある「いのち」を生き生きと輝せられることこそ、人としての幸せであります。

しかし人間の生きていく上には、様々な難儀や問題もまた起きてきます。改めて一人の力で生きているのでは無いことが、常に思い知らされます。

そういう時、お互いさまと、分かり合える仲間、祈り合える仲間があることは、どんなにか力強いことでしょうか。親子が、夫婦が、集団が、社会が、祈りあうことが出来、お互いさまと分かりあうことが出来る場になれば、いのちは輝きます。

本部の「あいよかけよの生活運動」の願いは、共に助かる世界を生み出すにも、信心する者が上に立つよ

うな、そういう心配がしないでもありません。

教会のサブテーマは、もう一段下がって、「お互いさま」の場面から生まれ出る「祈りあい」「助けあい」の精神を大切に、いのち輝き「生き生きとした信心、喜びに満ちた生活」を目指しつつ、「あいよかけよの生活運動」の本質にもせまっていきたいというものが込められています。

さて、来年は教祖様おかくれになって120年、秋には教祖120年生神金光大神大祭が仕えられ、新しい教祖様の御伝記も刊行されます。今の世にある私どもが、教祖様の御信心を改めていただき直す、我流の信心になっていないか、金光大神流の信心に改めて照らし合わせて見ることも大切であります。

こころの時代と言われながらも、宗教離れの進む今の世の中であって、しばしば思うのは、あの厳しい明治の時代に、教祖様がいかにご信心を進め、神様と共に時代に切り込んで行かれたのか、この機会にいつそう求めていきたいと思っております。

本日の生神金光大神大祭、どうぞ「みやげは船にも車にも積みぬ神徳ぞ」と仰る、大きなお徳をいただかれまして、来年の教祖120年祭に向けて、いよいよ「いのち」輝かせて参りたいと存じます。

なお、このテーマは馬場須美子さんの応募作に、ほんの少しだけ手を加えたものです。ありがとうございました。

速報！境内に
ブランコ・ベンチ
設置される →
仲良く使ってネ



目次

あいよかけよの生活運動「教会サブ・タイトル」について 教会長	1
信徒研修会講話「もっともっとおかげを受けて、もっともっと神様を語りましょう」 金光教三国教会長 杉田清司先生	2～4
教会夏まつり	4
旭川布教百年	5～6

「あいよかけよの生活運動」信徒研修会講話
もっともっとおかげを受けて、もっと
もっと神様を語りましょう！
金光教三国教会長 杉田清司 先生

2～3ページは、オンラインでは不掲載です。
山崎教会宛、メールで送付先をお知らせ
いただければ、教会新聞をお送りいたします。



藪本勝巳さんも駆けつけてくれて、本格的な太鼓の拍子が入り、地域の婦人会の皆さんが踊りの輪に加わってくれて、一気に踊りも盛り上がります。

さて、いよいよ、皆さんお待ちかね、クイズ大会です。今年は一等賞品に、大阪の「USJ」のペア入場チケットが、南海国際旅行さんから寄贈され、また例年の「ホテルいとう」の温泉入浴券も多数ご寄贈いただきました。これらの賞品をかけて、クイズが始まります。岩出町に関する問題、芸能、地理・・・色々な問題で振り落とされていきます。

ラッキーな一等は、今年は奇しくも信者さんでした。

さあ、クイズ大会も終わり、おでんも残り少なく、最後の一踊りが終わり、午後9時半、今年の夏まつりも無事終了しました。

夜の闇の中、来年に向けて、後片付けが丁寧に行われます。

お疲れさま！終了後、青年会・さなえ会でビールを片手に反省会がまたまた盛り上がります。

今年の婦人会バザー売り上げは83,740円。青年会・さなえ会売上げから1万円、教会の募金箱での募金をあわせて、合計12万円が「金光教平和活動センター」に送られました。「一食を捧げるチャリティ献金」ということで、東南アジアの恵まれない子供たちのためにお役に

に立たせていただきます。ありがとうございました。

教会夏まつり

8月3日（土）恒例となった「夏まつり」が、教会駐車場で行われました。

朝から、青年会を中心に、やぐらの組み立て、竹切り、ちょうちん吊り・・・と、暑さ厳しい中で、会場の設営がされて行きます。

さなえ会は、買い物、夜のおでんや食事関係の準備に大忙しです。

午後は歴代教会長親先生の例年祭が仕えられ、祭典後、夏祭りまで待つ方には夕食（カレー）も準備されました。

桶にいっぱいの氷もたくさん仕入れられました。

婦人会の皆さんは、信奉者皆さんが寄附してくれたバザーの品々を、前日に値付けも終わったのを会場へ運び、夕刻からまずバザーが始まりました。

日暮れの頃には、バザーの品も殆ど売り尽くされ、会場には近所の子供たちも三々五々集まってきました。いよいよ夏まつりのオープンです。

見物の方々も知らない間に増えてきました。盆踊りの音楽も始まり、気分は絶好調。まず、おでんやビール、炭火焼きのトウモロコシやフランクフルト、ジュースなど、飛ぶように売れていきます。ゲームコーナー、パーフェクト・ピッチングコーナーでは子供たちの歓声が上がります。

そうこうしている内に、踊りの輪も出来てきました。更に、待ってました！山崎教会の鼓童！



今後、いっそうのご協力を
お願いいたします。



みなさまから寄せられたまごころは、国や地域を越えて、東南アジアの人々の生活、教育、自立支援、災害支援のために活用されています。

金光教平和活動センターとは
昭和63年7月に設立された、NGO団体です。現在では、郵政省・外務省からも助成金をいただき、海外援助事業を中心としています。

特定非営利活動法人 金光教平和活動センター
719-0111 岡山県浅口郡金光町大谷 338
TEL 086542-3434

郵便振替口座 01280-9-10799

<http://www.konko.org/kpac/>

本日の大祭時「秋の百円募金」をお願いしています。
ご協力のほどよろしく申し上げます。

旭川教会 布教百年祭 参拝

【金光教全国信徒会発行の機関誌「あいよかけよ」2002年9月号の記事を、そのまま転載いたしました。所々省略しています】

赤い屋根と煙突、白い外壁、明るい四角の窓、直線が美しい・・・いかにも観光北海道らしい、洋菓子みtainな外観。

『奉祝 旭川布教100周年』と大書きされた看板が誇らしい。

きょうは平成14年6月16日。

《・・・明治35年1月26日、金光

教旭川教会の開祖、久郷梅次郎45歳は、師匠の小樽教会長・五十嵐孫太郎師と、毎日マイナス41度という国内最低気温を記録した旭川に着いた。2年前に村から町になったばかりの旭川だった》

受付で頂戴した記念誌『百年』に、旭川布教第一日のことが、そのように記されている。

祝典行事は、教会隣の「ベルクラシック」で行われた。緑の屋根に円窓、まさしく西洋の古城を新築？したような、美しく豪華な設備だ。

受付で、祝典のプログラム、教会の歩みを網羅した記念冊子『百年』などをいただく。手際の良い整理ぶりに感心。会場の3階オーロラの間は満席の状態。

○ 10時から祭典

祭主は、五十嵐徹・小樽教会副教会長。祭典の演奏がおごそかである。

立派なプログラム。神徳賛詞や取次唱詞、天地書附奉体、祭員や楽人の役名まで振りカナつきで大きく掲載されているのは、私のような者にはありがたい。

○ 11時20分から 講演

『北海道で考える 倉本聡』

富良野塾主宰で、テレビドラマ「前略おふくろ様」



金光教旭川教会

「昨日悲別で」、映画「冬の華」「駅」などの作者として知られる倉本さん。

私もファンで、「北の国から」各編はビデオに録画して、何度も見ている。「患者の旅」ほか数多い著書も愛読してきた。

講演はあまりしないというご本人から、これまでの歩み、北海道体験をお聞きできるなんて幸運である。

「富良野に土地を見に来て、案内の人に熊は大丈夫ですかと尋ねたら、こちらの熊は、気だてがいいからと言われました」

「最初の年は12月に入ると、マイナス28度というのが一週間くらい続き、一番困ったのがトイレでありまし

て・・・」

「最近の人は、自分のエネルギーの消費量を減らすことに、熱心になり過ぎています」

「大切なのは試行錯誤する時間です」

「金が無くても、知恵が生み出してくれる、それが創作」

「五感六感を開発しよう」

指摘され、納得する。心の底を揺すられる。

「人生の価値は、自分が受けたり与えたりした感動と笑いとの涙の量で計りたい」



ベルクラシック

○ 祝宴 13時から

宴はオーロラの間、大きな円卓が30ばかり、それぞれ10人くらいで囲む。和洋中のすばらしい料理が並び、各種の飲み物がふんだんにあって、もったいないほどである。もったいなく

いただいた。

祝辞は、サトウサンペイ（マンガ家）、鎌田勲（市会議員）、平野雄二（PL教会旭川教会長）加賀博人（金光教成羽教会長）のみなさま。乾杯は星野孟・金光教北海道教務センター長。

平成 2 年 3 月 28 日、20 年くらい教会機能がマヒ、風呂やトイレという住む設備すらなくなっていた教会に、夫人のかやみさん、長女のかづみさん、長男の満昌さんを伴って、本部教庁の職員を辞して、佐藤満雄先生が着任した。

祝宴は、どなたさまも晴れ晴れとしたお顔、元気な声、めでたさいっぱいという感じだ。

宴が果てて、教会に向かった。旅行鞆を足下に置いて、お広前にしばらく座っていた。

「記念祝典も、心磨きをテーマとして、真心の結集のみで当たらせていただきます」とは、佐藤満雄教会長の考え方で、それはみごとに大きな実を結んだ。

《根を大切にすると、見事な花が咲く。源を大切にすると末々まで栄える》

記念誌『百年』の巻頭のことばも目に浮かんだ。前の席の方で、祝典を終えて、ほっとしただろう信

徒の方々が、肩の荷を一つ降ろしたという感慨を口にしておられた。教会が発展したことを喜んでおられた。

(お世話になりました・・・)

心の中で頭を下げ、お邪魔しないように外に出た。



旭川教会正面にて(山崎教会からの参拝者一同)

金光教の教会で、すでに布教百年を迎えた教会は少なくない。これから迎える教会も多い。

そのいずれの教会においても、このようなご苦労があり、歓びがあった、あるのだと思った。強い連帯を感じた。

・・・すぐ近くの石狩川は悠々と流れていて、河畔の公園は広々と明るい。だが曇天のせい、大雪山の山脈は見えない。

(こんど旭川に来るときは、見えるといいな)

と思っていた。つぎの百年なんて、私にはないが、旭川教会にはあるんだ、と確信していた。(終)

平成 14 年 中期の歩み (春のご大祭以降)

- 4 月 14 日 天地金乃神大祭
- 5 月 6 日 クリーンハイキング (青年会主催)
谷瀬の吊り橋キャンプ場 (十津川) 【オープニングビデオ】
- 5 月 11 日 先代親奥様 明渡マサコ姫 5 年祭
- 6 月 9 日 ご本部独立記念祭参拝 (バス・22 名)
- 6 月 15 日～18 日 旭川教会「布教百年祭」参拝・北海道旅行 (25 名) 【別記】
- 7 月 7 日 「運動」信徒研修会 (紀北・北ブロック) 【講話掲載】
- 8 月 3 日 歴代教会長例年祭・教会夏まつり 【別記】
- 9 月 1 日 敬老会 (婦人会主催、さなえ会ご用) 【オープニングビデオ】
- 10 月 3 日 ご本部生神金光大神大祭参拝 (バス・29 名、他・4 名)